

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	4-4
23UMUA1243	音楽療法論Ⅱ	1	音楽療法についての基礎的理解をする。	・医療、福祉、教育の領域における音楽療法の実際について知る。 ・主な音楽療法の理論や方法に関する知識を習得する。 ・対人援助において必要な倫理について知る。	◎		◎						○					
23UMUA1244	発達心理学	1	生涯にわたる発達について学び、音楽療法や様々な発達支援のあり方について理解を深める。	・周産期から老年期といったそれぞれの発達段階の特色と課題について理解する。 ・音楽療法など様々な発達支援へのアプローチのあり方について考える基盤を養う。	◎								◎					
23UMUA2245	音楽心理学	2	音楽を理解するためには、音楽を感じる心の働きを理解しなければならない。本授業では、音楽に関する心理学の知識を身につけることを目的とする。	音楽や音に関する心理学的知見について理解を深めるとともに、演奏や聴取についての新たな見方を身につける。	◎								◎					
23UMUA2246	臨床心理学Ⅰ	2	心理臨床の場において、心に問題を抱えるクライアントへの理解を深めるとともに、言葉や音楽、動き、遊びなど様々なかたちで行われる対話のあり方について学び、実践に役立てる。	・心理療法の基礎となる理論を理解し、技法を学ぶ。 ・心理的に問題を抱えた対象に対する理解を深める。 ・セラピストとクライアントとの信頼関係を築くことについて学ぶ。	◎								◎		○		○	
23UMUA3247	臨床心理学Ⅱ	3	心理臨床の場において、心に問題を抱えるクライアントへの理解を深めるとともに、言葉や音楽、動き、遊びなど様々なかたちで行われる対話のあり方について学び、実践に役立てる。	・臨床心理学Ⅰで学んだ内容を基盤としながらも、音楽療法の実践の基盤となる心理療法的理論と技法を学ぶ。 ・セラピストとクライアントとの信頼関係を築くための基盤について学ぶ。	◎								◎		○		○	
23UMUA3248	社会福祉論	3	社会福祉論（内容・制度等）について俯瞰する。その上で特に音楽療法士（対人援助職）に求められると思われる社会福祉の基礎知識を学ぶ。	日常生活、社会福祉およびそれに纏わる制度に対し、関心と理解を高める。他の対人援助職と関わる上で、共通認識となる社会福祉の基礎的概念や制度等について、一定の理解を持てるようになる。音楽療法士の実習や実践に有用な知識を持つ。	◎		◎										○	
23UMUA3249	障害児教育	3	音楽療法などの療育指導を有効に行うために、子どもの障害、特に発達障害についての基礎知識を習得する。	療育指導などの現場で出会う障害児・者を支援するためには、その人たちを個別に理解することとともに、障害についての基礎知識が必要である。この授業ではそのような基礎知識を確実に身につけることが目標である。	◎													○
23UMUA2250	介護論	2	日本では現在少子高齢化が進み、介護の必要性はますます高まっている。介護予防の考え方、介護方法、障害を持っている人の機能回復を考慮した介護について理解を深める。	対象者は高齢者、脳血管障害患者とし、寝返り、起き上がり、立ち上がり、杖歩行などの基本動作における介護方法を理解する。日常生活動作に関わる食事動作、整容動作、入浴動作、トイレ動作、更衣動作における介護の実際について理解する。	◎													
23UMUA3251	レポーターラーニング	3	障害者児や高齢者を対象にした音楽療法を実践する上で大切なのは、これまでに歩んできた個々の歴史や背景を知ることである。そのためには、世代に共通した文化を個々の人生の背景として理解することが必要となる。このことを通じて、音楽療法の実践に役立つ技術を学ぶ。	・障害者児から高齢者に至るまで、各世代に共通した文化的背景について理解する。 ・上記を踏まえた音楽療法の実践技術を習得する。									◎		○		◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号												
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目												
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性			
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	4-4				
23UMUA3274	音楽文化事業企画演習	3	音楽や文化に関する事業の企画者として必要な能力を獲得することを目的とする。	音楽事業を実施するにあたって理解すべき事柄を習得し、実践する。	○							◎	○	○	○		
23UMUA4275	音楽活用実習	4	これまでに学習した音楽活用の各領域についてより実践的な能力を身につける。	アーツマネジメントおよび生涯学習に関する関係機関などの状況を具体的に理解し議論できるようにする。	○							◎	◎	○	○	○	
23UMUA3285	プレプロフェッショナル教育	3	近年の医・歯・薬学、工学・情報学の目覚ましい発展により、各分野を融合した医工学研究領域が新たな学問として脚光を浴びている。しかし、医学を理解した工学・情報学系の人材、工学・情報学系を理解した医療従事者は乏しいのが現状である。本科目では専門色が強く、かつ実習を取り入れた講義を行い、医工学領域の即戦力として活躍するために必要な知識を得ることを目的とする。	①専門科目では、臨床医工学・情報学の融合分野における最新の知見を学習し、各講義テーマと自らの専門分野・関心領域の知識とを結びつけて考えることができる。 ②共通科目においては理系（科学）英語の読み方・書き方および統計解析の考え方を学び、演習を通して研究をする上で必要となる基礎的なスキルを身につける。 ③実習では医療や福祉の現場を体感し、最新の機器等について理解を深めるとともに、講師とのディスカッションから研究倫理・職業観を養う。 ④本科目全体を通して、臨床医工学・情報学の融合分野への興味関心を喚起しながら自らが進む方向（分野）を考え、将来のキャリア形成の一助とすることができる。	○									○			